

特定事業 (所管部局)	主 な 見 直 し 内 容
図書館 (教育委員会)	<p>○本市図書館事業の独自性として、①子ども達が生涯を通して学び続ける基礎づくりのための公共図書館と学校図書館の連携（公共図書館の資源を活用した学校図書館の機能強化）②地域の課題解決に向け、情報提供および市民との協働や関係部局などと連携した支援③知識・情報の地域における発信および共有ならびに地域への還元の間づくりをとおして、全国のモデルとなる「学びのまちづくり」を実現する。</p> <p>○自動貸出・開館日数および開館時間の延長・返却ポイントの拡充など利用サービスの向上の実現</p> <p>○本市図書館の独自性とサービス向上により、図書館を積極的に利活用する登録市民 60%の達成（現行 40%）</p> <p>○平成 32 年度までに市民 1 人あたり 2,000 円を下回るコストとする。（現行 2,631 円・中核市平均 1,667 円）</p> <p>○あるべきサービス水準・コストを実現する手法として、ICT を活用したカウンター業務の効率化を平成 25 年度より導入するとともに、本市独自の考え方にもとづき外部活力の導入（指定管理者制度による館の管理運営・各種業務の外部委託化・市民との協働）を検討、平成 25 年度に方向性決定</p> <p>○特色ある図書館づくりや地域の知の拠点としての施設のありようなどをふまえた今後の戦略的な施設配置について、館数の見直しをはじめ複合化・多機能化なども視野に入れ、平成 25 年度に具体的な配置計画を策定</p>